



GAUDETE

推進本部だより

カトリック広島司教区平和の使徒推進本部

2017-2019年度広島教区年間テーマ

チャレンジ 新しい福音宣教 わたしをお使いください

- 教会へのチャレンジ - 2017年度「祈る使命(祭司職・典礼)」

インファンタ訪問

今年もまた8月の17日から23日までのインファンタ訪問に参加させていただきました。

今回は総勢9人でした。スケジュールが少し忙しかったですが、皆それぞれに感じたことがあったようです。

私ももう何年も行っていますが、今までになかった食事の形態があったりして新鮮でした。

ちなみにそれを説明します。木陰に机を並べて、その上にバナナの葉っぱを敷き詰めて、そこにご飯とおかずを載せて、みんなが並んで一斉にいただきました。

楽しい食事でした。昔、同じ様な食事をタイの山奥のカレン族の村で経験しました。大きなお皿のふちにご飯を載せ真ん中におかずを置いて、その皿を家族全員で囲んで、一緒に食べます。

同じ食物を一緒に分け合っている感じで、イエス様の最後の晩餐や、最初の弟子たちのパンを割く儀式はこんな感じだったのかなと思っただけを思い出しました。

もう一つ思い出したことがあります。タイとミャンマーの国境に近い山に飛行機が落ちた模様というニュースがあったとき、そこはカレン族が住む所で、カレン族は戦闘的な民族なので捜索が困難という報道がな

されました。

カレン族の誰とも会ったことのない人は、その報道を信じてしまいます。様々な情報が混乱する中、注意しないと間違っただけの情報を信じてしまいがちです。

特に国や民族をひとくくりにする様な報道は注意が必要だと思います。

平和行事がおこなわれました

オープニングプログラムは、シンポジウム「ラウダート・シ」、今年の平和行事のテーマでもあった教皇回勅を取り上げたものです。

パネリストの一人、松浦司教が「教皇はこの回勅でただ分析するのではなく、私の問題として、私の痛みとしてこの問題をとらえている。…ただ、環境問題は私たちには大きな問題、問題を理解するけれどもどうしたらよいか疑問に思うことがある。しかし、教皇は『あなたがたにできることを一歩、踏み出してください』という。そして、それはおどろくほど簡単にできることが書いてあります」(参照「ラウダート・シ」227, 237)と。また「今の環境問題は、『ともに暮らす家におこっていること』と表現されている。そして、『環境問題とは、他の問題などと同様に個々に起こっている問題なのではなく、わたしたちの家の中で起こっている問題なのだ』と教皇は指摘している。『わたしたちの家の中で起こっていることなのだからわたしたちに関係のあること』として取り組まなければならない」と紹介された。

夜には、平和祈願ミサが捧げられた。説教は那覇教区長ベラルド押川司教が担当された。「沖縄から世界に平和を推進しようと、平和の使徒である広島と同じ心です」と説教を導入された。「戦後も続く米軍基地の負担などで平和を奪われてきた沖縄の歴史」(カトリック新聞2017年8月13日号)を紹介し、「民意を全く無視した行動的差別、無関心が本土との壁を高くしていると私たちは感じている。教皇フランシスコは無関心のグローバリゼーションという言葉を使っています。差別と悲しみを生み出すのは無関心です。」と訴え、軍事力では平和が実現できず、反対に憎しみの連鎖を生むと訴えられました。「『平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。』(マタイ5:9)、わたしたちはこのキリストの宣言を信じています。そして平和の実現をめざし歩み続けます。」とってから、アンジの聖フランシスコの「平和を求める祈り」の一部を唱えられて終わられた。

シンポジウム、ミサの動画が当推進本部ホームページで公開されています。

—「教会へのチャレンジ」のヒント—

キリスト信者の母である教会

教会の本性をよりよく理解させるために第二バチカン公会議が選んだイメージの一つが、「母」です。教会は信仰と超自然的な生活におけるわたしたちの母です(『教会憲章』6、14、15、41、42: Lumen gentium 参照)。「母」は、最初の数世紀の教父がも

っともよく用いたイメージの一つであり、わたしたちにとっても役立つものだと思います。わたしにとっても「母」は教会のもっとも美しいイメージの一つです。母なる教会。教会は、どのような意味で、どのようなしかたで母なのでしょう。母性に関する人間的な現実から出発したいと思います。母は何をするのでしょうか。

1 まず第一に、母はいのちを生み出します。母は9か月の間、子どもを胎内に宿し、それから子どもを生みます。教会も同じです。教会は、自らを受胎させた聖霊のわざによって、わたしたちを信仰へと生み出します。おとめマリアと同じように。教会もおとめマリアとともに母です。教会についていわれることは聖母にもいえますし、聖母についていわれることは教会にもいえるのです。確かに信仰は個人的な行為です。「わたしは信じます」。神はご自身を知らせ、わたしと友になることを望みます。この神にわたしは個人的にこたえま（回勅『信仰の光』39: *Lumen fidei* 参照）。しかしわたしは信仰を他の人から、すなわち家庭の中で、共同体の中で受け取ります。これらの人々がわたしに「わたしは信じます」「わたしたちは信じます」ということを教えてくれるからです。キリスト信者は決して離れ小島ではありません。わたしたちは実験室でキリスト信者になるわけではありません。独りで、自力でキリスト信者になるわけではありません。むしろ信仰は贈り物です。神からのたまものです。このたまものは教会の中で、教会を通してわたしたちに与えられます。また教会は、洗礼によって信仰のいのちをわたしたちに与えます。洗礼は、わたしたちが神の子どもとして生まれ、わたしたちに神のいのちが与えられる瞬間です。教会が母としてわたしたちを生み出す瞬間です。教皇座聖堂であるサン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ大聖堂の洗礼堂に行くと、その中にラテン語で銘文が刻まれているのを見ることができます。それはおおよそ次のように述べています。「ここで神の血を引く民が生まれる。この民はこの水を受胎させた聖霊に

よって生み出される。母なる教会はこの水から自らの子を産む」。この文章はわたしたちに重要なことを悟らせてくれます。わたしたちが教会の一員となるのは、外的また形式的なことでも、所定の用紙に記入することでもありません。むしろそれは内的な、生きた行為です。わたしたちは結社や政党や何かの組織に入会するのと同じように、教会に属する者となるわけではありません。このきずなは、自分の母親とのきずなと同じように、生きています。聖アウグスティヌス (Augustinus 354-430年) が述べるとおりです。「教会はキリスト信者のいとも真実な母である」(『カトリック教会の道徳とマニ教徒の道徳について』: *De moribus ecclesiae catholicae et de moribus Manichaeorum* II, 30, 62-63, PL 32, 1336 [『カトリック教会の道徳』熊谷賢二訳、創文社、1963/1993年、95頁参照])。自らに問いたいと思います。わたしは教会をどのように見ているのでしょうか。わたしは自分を生んでくれたがゆえに、両親にも感謝します。それと同じように、洗礼を通じてわたしを信仰へと生んでくれたがゆえに、教会に感謝しているのでしょうか。どれだけのキリスト信者が自分が洗礼を受けた日を覚えているのでしょうか。ここでこの質問を皆様にしたと思います。答えは心の中でしてください。皆様の中で、自分が洗礼を受けた日を覚えている人がどれだけいるのでしょうか。何人かのかたが手を上げていますが、多くの方は覚えていません。けれども、洗礼を受けた日は、わたしたちが教会へと生まれた日です。わたしたちの母である教会がわたしたちを生んでくださった日です。ここで皆様に宿題を出したいと思います。今日、家に帰ったら、自分が洗礼を受けた日を調べてください。それは、この日を祝い、このたまものについて主に感謝するためです。そうしてくださいますか。わたしたちは、たとえ欠点があると分かっている、自分の母親を愛します。わたしたちは、それと同じように教会を愛しているのでしょうか。母親には皆、欠点があります。わたしたちにも皆、欠点があります。けれどもわたしたち

は、だれかが母親の欠点について話したなら、彼女を弁護します。母親を愛しているからです。教会にも欠点があります。わたしたちは母親のように教会を愛しているのでしょうか。教会がより美しく、本来的で、主に従ったものとなる助けとなっているのでしょうか。これは皆様への問いかけにとどめます。しかし、宿題を忘れないでください。自分が洗礼を受けた日を調べてください。それを心にとどめ、祝うためです。

(後略)

教皇フランシスコの16回目の一般謁見演説「キリスト信者の母である教会」(一部抜粋)
(カトリック中央協議会 訳)

「教会へのチャレンジ」ポスター募集中

応募締切：2017年11月20日(当日消印有効)

応募先：カトリック広島司教区平和の使徒推進本部



教会暦

- 09月08日 聖マリアの誕生(祝日)
- 09月13日 聖ヨハネ・クリズストモ司教教会博士(記念日)
- 09月14日 十字架称賛(祝日)
- 09月15日 悲しみの聖母(記念日)
- 09月16日 聖コルネリオ教皇 聖チブリアノ司教殉教者(記念日)
- 09月20日 聖アンデレ金と同志殉教者(記念日)
- 09月21日 聖マタイ使徒福音記者(祝日)
- 09月23日 聖ピオ(ピエトレルチーナ)司祭(記念日)
- 09月27日 聖ビンセンチオ・ア・パウロ司祭(記念日)
- 09月28日 聖トマス西と15殉教者(記念日)
- 09月29日 聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル大天使(祝日)
- 09月30日 聖ヒエロニモ司祭教会博士(記念日)

(ホームページ)

